



【講師プロフィール】

地元の強豪・室蘭大谷高校へ進学し、1年生から背番号10番を背負い、全国高校選手権に3年連続出場を果たす。卒業後はジェフ市原と契約し、プロサッカー選手になるという夢を叶えた矢先の1993年Jリーグ開幕半年後に交通事故で脊髄を損傷、車いす生活となる。

その後出会った車いすバスケットボールで新たな夢を見出し、2000年のシドニーパラリンピックから日本代表入りを果たすと、続くアテネ・北京・ロンドンと4大会連続でパラリンピックに出場。08年の北京大会では日本選手団主将を務めた。競技者を引退した後は指導者としての道を歩み始め、車いすバスケットボール日本代表アシスタントコーチに就任。2016年リオデジャネイロ、自身5大会目のパラリンピックは指導者としての出場となった。2020年からはヘッドコーチに就任し、東京パラリンピックで車いすバスケット史上初となる銀メダル獲得。指導者として日本の強さを世界に示した。また、U23日本代表のヘッドコーチも兼任し、若手の育成にも力を注ぐ。

講演内容

Jリーガーという夢を叶えた矢先の事故でサッカーを奪われた京谷氏は、何を原動力に、どのように試練を乗り越えたのか。そこから得たものは何だったか。

先の見えない時代に、前に進む力を身に付けるヒントを学ぶとともに、東京2020パラリンピックでのエピソードなども伺います。

挫折からの挑戦
夢を二度叶えた生き方

京谷和幸氏



元Jリーガー
車椅子バスケットボール
パラリンピック日本代表ヘッドコーチ

令和4年

2月18日(金)

14:45 ~ 16:15

【受付開始 14:00】

練馬文化センター 大ホール

(東京都練馬区練馬1丁目17-37)

対象 東京23区(特別区)に勤務する職員
530名程度

申込 各区(事務組合)の研修担当まで

問合せ 特別区職員研修所
管理課企画研修係 (5298-3917)